

H30東関東道国道354号跨道橋下部その2工事において、未来の建設業の担い手となる“茨城県立土浦工業高等学校”を工事現場に招待し、東関東道事業の目的や工事内容の説明、最新技術の測量やAR体験などを通して、建設業界の魅力を発信し関心を抱いてもらうため、常総国道事務所と茨城県建設業協会が協力して、現場見学会を開催しました！

事業説明



3Dモデルと 構造物との比較



参加した高校生の感想

- ・橋を一つ作るだけでも、様々な作業があって、凄く大変だけど大事な仕事だと思いました。
- ・ARが一番印象に残りました。実際に見ている景色に橋や道路が出来ているように見えるのは凄く分かりやすかったです。
- ・将来、こういう仕事をするかもしれないので、間近で工事現場を見ることが出来て良かったです。

工事内容説明



既製杭 展示



最新技術の測量



完成形AR体験



硬化熱体感

